

## 令和3年度大雪山国立公園連絡協議会総会議事概要

■日 時：令和3年5月14日（金）14：00～15：40

■会 場：上川町役場大会議室

■出席者：会場出席15名 WEB出席33人 事務局10人

### ■概 要

#### 1. 開会

■大雪山国立公園連絡協議会 会長 佐藤上川町長

- ・2020年に総合型の協議会へと改組され、登山道維持管理部会が設けられ登山道整備技術指針の今後の活用検討やグレードや携帯トイレの普及に向け新たな取組みや管理運営、協力金の2つの作業部会における課題や検討が進められている。
- ・今後はビジョンの実現に向け新たな協議会体制を基に事業を進め、協議会としての取組を加速していくため事業計画等を中心として協議についてお願いし、引き続き皆様のご協力ご支援をお願い申し上げます。

#### 2. 議事

##### (1) 審議事項

- 1) 令和2年度事業報告について
- 2) 令和2年度会計報告について
- 3) 令和2年度会計監査について

以上、1)及び2)について、事務局より資料に基づき説明、3)について監査鹿追町長の代理の商工観光課より監査報告が行われた。

→質問・意見等無し

-4) 令和3年度事業計画について

-5) 令和3年度事業予算について

以上、4)及び5)について、事務局より資料に基づき説明。

■大雪と石狩の自然を守る会 寺島氏

- ・収入の負担金の各市町村の割合はどのように決めているのか。

■事務局

- ・各市町同一の基本金部分と面積割等によって振り分けている。

■北海道大学大学院地球環境科学研究院 渡辺氏

- ・グレードマップを印刷することと、登山道入口においておくことは良いことだが、情報は事前に入手できることが重要で、市販された地図にも大雪山グレー

ドを載せてもらう努力が必要。登山者には等高線が入った地図が不可欠であり、紙媒体に加え、スマホのアプリで見られる等高線付きの地図を含め、多様な地図にグレードマップを載せてもらうようにすべき。

■事務局

- ・登山の前段階で情報をいかに提供するか重要。協力金周知も事前段階で重要な情報をしっかりと伝えることが求められる。紙媒体にだけにとられない他の方法も考えていく。

■（一社）十勝岳かみふらの観光協会 青野氏

- ・携帯トイレ普及推進事業の20万円予算計上について、昨年度トムラウシ山で配布ボックス作り、携帯トイレ配布も入っていると思われるが、どのくらいの携帯トイレを配布するのか。十勝岳の方ではオリジナル携帯トイレの販売を行い、売上の一部でも携帯トイレを整備していく中、お金を寄付できたらと考えている。トムラウシ温泉では販売されてないから配布が進められているのか、またこれからも継続的に行う予定なのか。

■事務局

- ・携帯トイレ普及推進事業ではキャンペーングッズ、回収ボックスの設置を基本的には考えている。ただ、各地で携帯トイレを普及させるために携帯トイレそのものの配布も部分的にはある。
- ・資料1-1の別添3のトムラウシ山の携帯トイレ配布ボックスは、R3年度に実施する予定。協議会から携帯トイレの提供をすることを含めて連携し、携帯トイレの無人販売で得た協力金を寄付金として扱おうと考えている。
- ・今回の取り組みはトライアルの販売であり、登山者が事前に準備してくるのが望ましいが、そうでない登山者も中にはいる。無人販売を行い、どのくらいの人がきちんとお金を払ってくれるのかということも含めて試験的に行うもの。
- ・トムラウシ山では携帯トイレを持っているという人は多く、持っていないという人はそれほどいない。購入する数についてはまだ決まっておらず、新得山岳会の方とも連携し、また実際の状況も合わせて検討していく予定である。

-6) 大雪山国立公園連絡協議会規約の改正について

→質問・意見等なし

-7) 大雪山国立公園連絡協議会における議事の公開方法について

■(株)りんゆう観光 植田氏

- ・YouTube 配信について出席者に確認が取れたら良いと思う。アーカイブとして見直すことはできるのか。

■事務局

- ・協議会のアカウントを使い、アカウントに動画として残っているので、後日確

認できるようになる。

## (2) 報告事項

### -1) 大雪山国立公園管理運営計画検討作業部会の進捗状況について

→質問等無し

### -2) 大雪山国立公園協力金等検討作業部会の進捗について

#### ■北海道大学大学院農学研究院 愛甲氏

- ・モデル地域では、どのような取り組みが白雲岳周辺で行われるのか。

#### ■事務局

- ・白雲岳避難小屋来訪者に対し、任意で1000円の協力金をお願いするというのが、基本的な考え方。白雲岳避難小屋管理業務請負者が業務を担当し収受方法は現金となっている。登山者の理解を訴求し、質問にも対応するため、避難小屋管理人が必要に応じ、説明を行う。作業部会において検討中である取組方針との整合性を保つため、情報発信を行い、会計の透明性を持たせるという実施計画になっている。

### -3) 表大雪地域/東大雪地域登山道維持管理部会からの取組状況の報告

※報告後、各団体から意見をいただく。

#### ■山樂舎 BEAR 佐久間氏

- ・昨年度から協議会の枠組が変わり民間団体も加わったが、内容がどれほど変わったのか今の段階では不明である。今後色々な意見が出てくるが。構成員やオブザーバーの方々と共有し、内容のある会にしていければと思う。

#### ■大雪山国立公園パークボランティア連絡会 黒田氏

- ・登山道維持管理の最大の目的は利用者に安全な登山を提供すること。大雪山の場合、登山道に雪が残っている時とない時で環境が大きく変わる。シーズン始めは雪渓での事故があるので、登山道において柔軟な対応が必要なのではないか。

#### ■NPO 法人大雪山自然学校 藤氏

- ・協議会の形がどのように変わったのかわかっていないが、現場の人は様々な課題に向き合い、考えている。そのようなものを持ち寄って、今までよりも現場に役立つ議論ができれば良いと考える。

#### ■新得山岳会 小西氏

- ・環境省の委託事業でトムラウシ山の巡視や軽作業を行っているが、本州から登りに来た人に「百名山なのにこんな田んぼ道になってなにやっているんだ」と怒鳴り帰

った人がいる。

- ・トムラウシ山は執行者が環境省で、毎年の予算をつけてもらい少しずつ良くなってきているが、新得側からの十勝岳の登山道は執行者がおらず、藪漕ぎ状態になってきている。このままだと新得側からのコースは登れなくなる恐れもあり、執行者を早く決めてもらいたい。また、登山口までの林道も台風によってかなり荒れており、登山道に行けない林道もある。森林管理署の働きに期待したい。

#### -4) 各構成員からの情報提供、情報交換について

##### ■(株)りんゆう観光 山崎氏

- ・資料 2-4-1 参照 参照資料を登山口や HP 等に情報を載せる予定と説明あり。

##### ■北海道大学大学院農学研究院 愛甲氏

- ・資料 2-4-2 依頼文、調査票参照 アンケートの詳細、対象、取扱いについて提案。内容の承認について諮られる。
  - ご提案について異議なしで満場一致

##### ■北海道運輸局 観光部 水口氏

- ・Adventure Travel world summit のバーチャル開催について報告。
- ・大雪山国立公園で長期滞在プログラム、冬のプログラムについて計画され、実施決定後、関係者にご相談させていただく旨の情報提供。

### 3. その他

#### ■事務局

- ・総合型の協議会となってまだ間もないが、管理運営を進めていくうえでこれ以上ない場ができたという認識。第一級の国立公園にふさわしい第一級の仕組みを目指していこうということで間違いない。
- ・協力金に代表されるような新たな取り組みも始まり、登山道の整備技術をさらに磨いていこうという動きもある。一つの場で共有してより素晴らしい国立公園をつくろうという新たな枠組みとなる。
- ・参画していただいている意義を感じていただけるよう事務局としても頑張っていきたい。

#### ■十勝自然保護協会 川内氏

- ・大雪山国立公園の満喫プロジェクトの展開について

#### ■事務局

- ・訪日外国人に対応し世界水準の国立公園を作っていこうという趣旨があるが、素晴らしい自然をいかに保全し、貴重な資源を持続可能に活用することが最も重要。大

雪山の場合は登山道管理を通じ、元々ある自然を元の状態で極力維持する仕組みを考え、素晴らしい自然体験をできる場を確保していくところである。

■北海道大学大学院地球環境科学研究院 渡辺氏

- ・民間の力をフルに使うことができ、小回りがきくようにするためには、協議会には財団のような恒久的な組織も必要とし、そうした組織を早期に設立するため、その議論を早急に行えるよう要望

■事務局

- ・大連協の下に部会と作業部会があり、どのように続け、具体的な議論や意見交換を行っていただけるかが今後より一層重要になってくるのでこちらこそお願いしたい。

#### 4. 閉会

■北海道地方環境事務所 安田所長

- ・管理運営計画の検討と協力金の取組み、リニューアルオープンした白雲避難小屋を中心とした協力金の収受の試行とそれを活用した登山道の整備など、着実に進めていくことが述べられた。
- ・コロナ感染症の影響下でも地域の方と協力しながら着実に進め、4月からの大雪山国立公園管理事務長の新体制の中でより具体的な事業展開にご協力ご支援をよろしくお願いしたい。